夕刊
磐城新聞
七月二十日發行
（日曜祭日翌日休刊）

非連絡線を御利用下さい

山田生

下

何れにしても面妖な掲示だと思つて女車掌にあれはどういふ意味かと尋ねて見たら、車掌は『アラッ』と驚いて『是』がかくれてゐるんです、といつて、その掲示板を一寸動かした、成程『是』が現はれて先きとは全く反對の、而かも露骨な『是非連絡線を御利用下さい』となつたのである、あれこれと考へ過ごした自分がおかしくなつた、乘客一同も噴き出した

○

佐原でバスを下りた時は二時に十五分しかない、直ぐンコに居たタクシーに飛び乘つて鹿島に行くのだから二時の汽船に間に合ふ樣に香取神宮に參拜さして呉れと賴むと、それなら鹿島まで參らませうといふ、そんなコースがあるのかと驚いて尋ねると、この四月に大利根の鐵橋が完成したので船に乘らずに鹿島まで行けるのだといふ、そこで香取神宮にゆつくり參拜して鹿島まで四十分、ために潮來まで二時間の餘裕が出來て潮來情調さへ味ふ事が出來たのである、それにしてもかやうの便宜のあることを知らさずに是が非でも連絡線を利用させやうとする會社の利己的な態度が不快である

而かもその連絡線のバスが偶然間違つて出した『非連絡線を御利用下さい』の意味をそのまゝに非連絡の機關を利用したがために多大の便宜が得られたといふ事は又皮肉ではないか

思ひ出の歌

草野村　渡邊孤舟

乾き切つた七月の空氣の中から
今日も亦子供等の歌ふ歌が
聞えて來る
……山のお寺の鐘が鳴る
お手々つないで
歸りませう……
あの子供等が歸る頃あの
歌を歌つて
歸つて來た優しい妹だつたのに……
運命の惡戯か妹は病院の
一室で
靜かに眠つて行つたのだ
風なきに散る一輪の花の
如く
だが思ひ出のあの歌は一
生涯忘れ得ぬだらう
そして永遠に俺の心臟を
打つ事だらう

池亭聞蛙

珠雲　小野務平

假山幽石繞池清
水斂蒼煙雨已晴
亭畔爲誰成鼓吹
一蛙鳴便萬蛙鳴

ふくろう

鈴村遥

鎭守の社の大杉に
梟がホー／＼鳴いてゐる
お腹が空いてパ、呼ぶか
梟がさみしと鳴いてゐる
キラ／＼星樣光る夜に
梟がホー／＼鳴いてゐる
お腹が空いてマ、呼ぶか
梟が悲しく鳴いてゐる
月の出た夜も暗の夜も
フクロがホー／＼鳴いてゐる
鎭守の杜を守つてる
フクロがさみしく鳴いてゐる

句帳から

青葉の中の厠を借りにけり　流山
風鈴屋扉臺かつげば皆ゆれる　たゞし
船住ひ風鈴低く吊しあり
眞夜中の金魚の目玉恐しき
戰ごと麥の穗かげに一隊が　日出雄
泥臭き小堀かぶさる花茨
緣側を半ばぬらせし夕立かな

七月題詠

一、青
一、蟬
歌數隨意
締切七月二十五日

7月21日

△畿內の國司に命じ蕎麥を植えしむ（承和六）△僧文覺入寂（建仁元）△ハリス駐在總領事として來任（安政三）△平消防組新舞子で夏季演習（昭和一〇）

小說　高橋是清 (70)

松浦泉三郎作　佐々木今朝吉畫

森有禮（五）

『どうだ、橋、鈴―』
森は流石少し寂しさうに
『豫期通りの日が來たであらう。わしの眼には狂ひはあるまい』
二人は答へられなかつた
『國家百年の大計を思ふ折角の御苦勞、水泡に歸した今となりましては、申上げようもありませぬ』
やがて和喜次が言ふと
『世間はまだ舊殼を脫し得ないのです。目醒める日が遠からず來る事と存じます』
五六郎も顏を伏せて言つた。
『後藤もこの事を知つたらどんなに殘念がりますことか』
遠い友の身を思ひ浮べて和喜次が又言葉を次いだ
後藤常は當時、鮫島フランス駐剳公使に隨行し、外務書記生として、巴里に行つてゐた
二人共、涙ぐんでゐた
急に森は笑ひ出して
『二人共、慰めるには及ばぬぞ。ハッハッ……。兎に角わしは田舍に歸る。最初言ふた通り、當分鋤鍬を手に、暫らく天下の動きを、外から觀察して見るのは面白からうよ。その中又何かわしを必要とする事が、出來ぬものでもあるまい。その時は又來る、隨分堅固で勉學を怠るなよ』
『はい』
『二人共、今日は又特に神妙らしくして居るな、ハッハッ……。何を眞しやかな顏をしてゐる。何事も時世だ。わしの廢刀論が、また世に容られるには、ちと早いと言ふだけの事、慨するには當らぬ事だ』
が、然し、さう言ふ森の胸中に渦卷いてゐる、世に對する鬱憤は、言葉の端々に、ちらッ、ちらッと、炎のやうに散つてゐた
二人は默つて膝を見てゐた
『木像が二ッ出來て了ふた わしは性來陰氣な事は嫌ひだ。當分の別れ、今夜は呑まふ。又泊つてゆくが宜い！』

酒が支度された
森は端然と膝に手を置いて
人生五十、化轉の中に較ぶれば、夢幻の如くなり―
と、詠つた
こんな事は、珍しい事だつた
翌日森は、飄然と故山へ歸つて行つた。二人は依然大學南校の教官として殘つた。間もなく政府は長崎からフルベッキ博士を招んで南校の教頭に任命した
森は然し、翌明治三年には早くも又、勅命に會つた鹿兒島から上京し、小辨務使として、アメリカ視察の途に上る事になつた
二人は一年振りで森の明るい顏を見た。二三日して和喜次丈けが呼ばれた
『他ではない。今度わしが連れて行きたいと思つてゐたが、或ひは連れて行けぬかも知れぬ。他に年長の希望者が多くての』
和喜次は豫期してゐた事なので
『先生、私の兄事してゐる南校の教官に、矢田部良吉といふ者が居ります。私の代りに連れて行つて戴けませんでせうか。江川（太郎左衛門）先生の門下で私の横濱時代の先輩です』
『さうか』
森は頷いて
『一度連れて來て見るが宜い』
矢田部は人物に多少の難はあつたが、和喜次の推薦で希望を叶へられた。後年コルネル大學に植物學を學び、大學教授となつたが惜しくも早世した
長州の內藤誠太郎も同行した
內藤は後堀と改姓し、山口縣下に教鞭を執つてゐた今は亡い
森は和喜次等をフルベッキ博士、及び大學大丞加藤弘之に托してアメリカへ發つた
和喜次丈けには、後日適當の機會に呼び寄せるかも知れぬから―と云ひ殘して

童話　魔物を食べた木馬

阿部賴俊

四

『ねえお兄ちやん、お父さん默目なら、お兄ちやんやつて見たら、きつと大丈夫だわよ』
『僕が、駄目だい。お父さんだつて出來ないんだもの！』
『でも、一生懸命にやつたら大丈夫だと思ふわ、佛樣や、お母樣がチヤンと見てゐて下さるから』
『そうだ、やらう、きつと佛樣やお母樣が力をかして下さるよ。死ぬ迄作らうね！』
心に固く決心した太郎さんは、直樣お父樣に話してから山へ木馬を作る木を探しに行きました。然し仲々見つからない
『木馬ちやん、／＼
これから生れる木馬ちやん
こゝにゐるよと言つてお呉れ』
と、出鱈目な歌を唄ひ乍ら、グン／＼奥へ／＼と入つて行きます。其中に、眞赤なお陽樣はとつぷりと西のお山の蔭に沈み、キラ／＼お星樣があつちの方、こつちの方にも輝き出した頃、太郎さんは、もう一歩も歩けずある古いお池の岸邊に腰を降して、水に映つてるお月樣の影を見てゐました
『あゝ困つたな、一日探したつて見つからないや、お父さんはどうしてゐるだらう。もしか誰でも木を呉れたら、何でもお禮にやるげどな』
と思はず水の面に向つて言つた時、不思議、確に池の底から
『何でも呉れるか、本當だらうな』
と妙に氣味の惡い聲が聞えて來ました。太郎さんは思はず、ハッとしましたが負けぬ氣の太郎さん
『誰が嘘なんて云ふかい』
と云ひ乍ら、ジット池の中を見ましたが、誰もゐない

日本の家庭藥必備
トフメル
皮膚に　外傷に　化粧に
平町田町　阿部藥舖

小店員入用
御希望の方は當店迄御出下さい
平驛前　阿部石炭商店　電話三十七番

天下一品マヅイ素人料理
おでん　榮ちやん
酒にやき鳥　冷ビールにサイダー
平・新田町・電三三番

洋食　喫茶　宴會
コンパル
平町　電話666
毎度有難う御座います。

不二タクシ
電話三二番

夜間診療
胃腸性病
內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町　電一〇一七番）
（見習看護婦募集）

精神病科　腦脊髓病科　神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生　電話九二五番
院長醫學士　金森五郎
入院隨時

新築落成
〔營業開始〕
……大衆奉仕を……念願とし社會中層の御相手旅館としてやよひ館の名の下に愈々六月六日より營業を開始致しました。
……眺望並に淸新……の氣分に於て他に遜色なく旅の御疲れを慰むるに適當な處と存じます。
……室貸を主とし……經營致します故御食事は御自由ですがお望みに依り差上ぐる設備もあります
※茶代は勿論申受けません。何卒御引立の程を願ひます。
平郵便局通り〔電七六番〕
やよひ館

內外建築材　建具材
磐城國平町（公園下）
入　阿部材木店
阿部好利　改メ
電話四九四番

X光線科　整形外科
平町才槌小路四
大河內整形外科醫院
醫學士　大河內一郎
電話五八八

時代の要求 皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市內…三〇錢　市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行―直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

手職ヲ覺ヘラル、雜務員募集
一、年令十五、六才
一、初給四十錢內外年二回昇給アリ
一、平町及附近居住者ニシテ通勤シ得ルモノ
一、最初工場ノ雜務ニ從事シ後本人ノ適業ニ廻ス
右希望者ハ本人直接當工場ヘ御申込ヲ乞フ
平町新田前
丸はん家具製作所
電話ノ御照會ハ御斷リ致シマス

眼鏡
メガネは正確にして廉價
最新式レンズ各國製
豊富に取揃へて御座います
（亂視用眼鏡即時調製）
根本時計店
平町二丁目　電話六〇七

海水浴は豊間へ!!
◇浴場　白砂青松！一日の潮干狩！お家族連れも絕對安全！
豊間海水浴場……
薄磯海水浴場……
沼ノ內海水浴場……
何れも豊間村內にありて、接近・遠淺・磯遊に好適！
◇名勝　沼ノ內辨財天、賽ノ河原（薄磯）鹽屋埼燈台、大敷漁場、二見ケ浦
◇設備　（無料脫衣場）娛樂の設備あり
◇貸室　（一疊壹圓內外）御紹介あれば御便宜取計ひます
◇自動車料金　期間…七月十五日より八月三十一日まで特別割引
平…豊間　片道三十錢（往復）四十五錢
平…薄磯・沼ノ內　片道二十五錢（往復）四十錢
主催　豊間村青年團　豊間村消防組
後援　鈴木自動車部　電話二一七番
野崎自動車部　電話三四〇・三四三
今年も是非豊間へ!!

月曜論壇

市制と指導精神

平町と合併後に於ては從來村の中堅を成し來つた純眞朴訥の青年が一轉して輕佻淺薄な都會の若物となりはせぬか、盛り場のネオンに憧れて翌黎明の野良稼ぎに睡眠不足の惡影響を招來せぬか、負擔の增大も考へねばならぬ――と云つた樣なのが平町市制の實施に當面せる隣接の農村イズムであるらしい。即ち之に因つて恰も永い間培はれ來つた自治の機構に或種の分解作用を起し一面太陽への直參たる土の生產から離れねばならぬかの如く村から市への轉向を少年の日の追慕に囚はれて被併呑者の偏見からその去就を狐疑するは、終始捨て難き郷土に愛着する意味に於てまた諒とすべきものあるが、右は所謂市制なるものに對する村落民の認識が、村名の亡失と區域の併呑とが其の凡てゞあるかの如く思推する事によつて生ずる傳統への別離に眷戀たる以外一步を出でないものである限り、關係村民の啓蒙指導に就ては文書に口授に總有る方法に依てその眞相を闡明會得せしむる事が當面の急務と思ふ、蓋し物ごとに對する正しき理解は旋て穩健妥當なる輿論として各村を聽從せしめ計劃を實現に導くの第一義たるを失はぬからである。而して之等の參加を求めて新に颯爽たる新興都市を形成せんとする現在の平町は之に關係部落民の指導精神として、市制實現を目的とする隣接部落合併の內容に就き從來未踏の肝腎な點に極めて力強き最初のピツケルを打ち込み、問題の中核を捉へて關係村民の人心を把握し以て徐ろに之を同一步調に導くこそ最も正鵠に近い順序ではないか、この觀點からすると對手の態度如何により徒に事の速成にのみ重點を置いて確固たる信念に乏しい左顧右眄的折衝に出づる事は此際斷じて避けねばならない、要は兩者の摩擦面を最小に狹め事を進むるに存する

全磐中の輿望を荷ふ 体育大會出場選手決定

期日切迫に意氣倍々昂る

晴の跳躍

縣下中等校体育大會は既報の如く來る二十三日より各地で行はれるが、磐中の各部選手は左の如く決定した(括弧內は學年)

△野球部 投手長瀬高行(五) 捕手水野芳正(三) 一壘河田稔(五) 二壘秋山清(五) 三壘金成環(五) 遊擊水野三郎(五) 左翼遠藤吉雄(四) 中堅矢代弘文(四) 右翼鈴木慶一(四) 補缺來栖武雄(三) 根本康資(三) 石橋健次郎(三)

△庭球部 大將組篠原英任(五) 小林一男(四) 副將組鈴木康男(四) 根本透(四) 補缺樋口儀吉(三) 關原定之(三)

△柔道部 初段吉野八十榮(五) 同石橋正巳(五) 同樋口賢(五) 同關場安昌(五) 一級西山茂(五) 高木孝一(四) 補缺齋藤武(四)

△劍道部 初段樫村洋(五) 同大和田一雄(同) 永山貞雄(五) 一級中川信一(四) 同遠藤正壽(四) 薗部隆一(四) 補缺東海林久(三)

△競技部 鈴木源一(五) 關場毅(五) 大野章雄(五) 松本久(五) 武藤義明(五) 小林安友(五) 木田志雄太(四) 相澤義雄(四) 渡邊武治(三) 國井俊一(三) 補缺石井貞信(五) 安藤源資(五) 小野忠弘(四) 佐藤貞治(三) 菅野勝郎(三)

△器械体操 小野富房(四) 坂本繁(四) 山田二郎(四)

雲表に涼を探る

平青年團一行卅名 大瀧根山鍾乳洞見學

平町青年團では來る二十六日(日曜)同團体育、修養兩部主催の下に大瀧根山鍾乳洞見學を行ふ 右は定員三十名、午前六時十五分平驛發、神俣驛下車見學午後六時二十二分平驛下車解散の豫定、會費一圓二十錢である

られてゐる 平六八俵 釜屋八〇 草野農會四〇 神谷三五 大野一〇四 草野農會五八 平窪八六 小川三八

優良品に特別荷票

雙三木炭の企て

雙三郡木炭同業組合では生產品の品質向上を圖るため縣下のトップを切り優良生產品に對し特別荷票『旭章』をつける事となつた

第一校健兒耐熱行軍

廿八日の目的地決定

既報―平第一校では明後二十二日行ふ筈だつた月次遠足を來る二十八日左の如く耐熱行軍を兼ねて決行する

尋一―鎌田山 二―神谷村虛空藏尊農試分場 三―同出羽神社 四―草野村花園神社 五―同新舞子 六―同赤沼海岸 高一、二―大浦村仁井田浦

中堅青年講習

郡聯合青年團の今年度中堅青年講習會は來月十六日より四日間西白河郡中畑村縣立修練農場で開催すべく目下計劃中

竣功近き小川橋

工費一萬四千圓で 從來の危險を救ふ

小川村地內縣道小川橋は腐朽甚しく從來子供や車馬の墜落等の慘事が相次いでゐたので平土木監督所では工費一萬四千圓(堀江工業請負)で去る二月着工目下着々進工中であるが來月末頃竣功する 新橋は延長四十七米、幅員五米五〇、鐵筋コンクリートのモダン橋である

出廻り減少

あす俵米共販

石城販聯の俵米定期共販は明二十一日行はれるが出荷は左の如く合計五百五十九俵、相場は依然政府米に押されて落調を辿るものと見で

海水浴景氣として申し分無い賑ひ

昨日曜の各濱

去る十六日本格的の夏氣分に入つて四日目、幾分風はあつても朝來依然たる快晴で而も海水浴季最初の日曜と云ふ處から各方面の人出多くバス、ガソリン車、汽車何れも超滿員で濱は今年初めての大賑ひを呈した、午過ぎからの雷雨に興盡きぬ人達の跡は已む無く引き上げたが、最大限の客を吸收してからの事とて各商店には既得の收入に何等の影響無く海水浴景氣としては先づ以て申し分無い盛明けでおつた

犯罪防止

◇海水浴客心得◇

郡下三警察署では海水浴シーズンにつきもの〻犯罪防止に縣からの通牒に基いて左の注意事項を徹底させる事となつた

一、脫衣場には監視人の設備をなさしめ貴重品を預らしめる事
二、脫衣場以外の場所には脫衣せしめぬ事
三、自動車、オートバイの保管設備もなす事
四、挑發的の海水着を取締り風紀問題が嚴重に取締る事
五、盜難事件は大小にかゝはらず急速に申告せしめるやう取計ふ事
六、犯人を捕へた時は直ちに署へ報告せしめる事
七、適當の場所に犯罪防止の警告をなさしめる事
八、臨時間借等の場合も住所氏名を確かと控かへ置かしめる事
九、キャンプ生活者には代表者をして住所氏名を屆け出てしめる事

雷公大暴れ

動力休みの關係から昨日曜は賑ひを豫想されてゐたが午さがりに至つて俄然天候激變物凄い雷鳴稻妻と共に驟雨沛然と襲來し人々の心膽を寒からしめ人出盛りの各濱は大混雜を呈したこの雷雨の中で午後四時近く平町大町若松醫院前電柱に落雷、幸ひトランスを破壞したのみで人畜に被害はなかつた尙大日本電力會社では開閉器一台破損した外市內にもヒューズの切斷された處が相當あつた、尙平局の電信、電話には被害はなかつたと

松籟の勿來浴場

迎客準備整ふ

組合で九面海岸を指定

勿來海水浴場では今年こそはの意氣込みで去月から町當局及關係者が大馬力で客を吸收すべく準備、九面地內海岸を指定地として此程地元青年團及消防組參集左記の通り設備萬般を了した 宣傳ビラ一萬枚を各方面へ配布・無料、有料の脫衣場の設備(有料脫衣場は金五錢、但しサービス風呂付き) ピクニック、ハイキングの好適地として勿來驛より海岸迄定期自動車の運轉開始(片道大人十錢同小人五錢)

尙昨日曜には炭礦其他各方面からの多數人出であり今後とも例年以上の人出を豫想されてゐる

。。。。。接客業者健診 平署管內接客業者の健康診斷は明後二十二日(既報二十日は誤り)午前八時から同署會議室で行はれるが受檢者は約千六百名であると

惡戯助手失敗の巻

車上からロープを投げ 郵便集配手を傷く

上遠野村根岸トラック業馬上哲雄方助手吉田鐵二(一九)假名―は去る十五日午後五時頃トラックに同乘磐崎村藤原縣道にさしかゝつた際面白半分に前方を自轉車に乘つて通行中の湯本局集配手志賀由松(四九)目がけてマニラロープを投げつけ由松はこれがため約三間も引きづられて打ち倒れ手足其他に全治二週間の傷を負ひ鐵二は直に平署に檢擧された

小名濱側溝施工陳情

小名濱町西町地內は海水浴シーズンに際し側溝工事が施行されず町の体裁に拘るから急速施工して欲しいと區長等が平土木監督所に陳情した

第四小學通學道路開設

平町第四小學校通學道路(幅員四間延長百間)の敷地開設に關する委員會は今二十日午後一時から開いたが關係地主二十餘名に對し直に交渉を進め

「夫婦生活は嫌」

夫の許を脫け出し 紅燈街に入つた卅女

『今更同棲したくない』と內郷村綴驛前カフエーバッカス事小野丑松方女給群馬縣佐波郡伊勢崎町加藤彌五郎內妻森下コト(三九)は去る五月三十日夫の不在中無斷家出、行方を晦まし去月二十二日前記バッカス方に住み込んでゐる事を突きとめた彌五郎は此程平署を通じ歸宅方を勸めたが、コトは頑として聞き入れぬので目下同署で背後の事情等を調査してゐる

漫談と映畫の夕

出演者古川綠波氏の都合で延期となつて居た平青年團資金造成の『漫談と映畫の夕』は愈々明後二十二日午後七時から聚樂館に於て開催すると

今月に入つて六人

內郷でまた水の犧牲

內郷村御台境字坂下二五發次郎次女浪鹽ツル子(一四)は十九日午前十一時半頃友人數名と自宅附近の沼で水遊び中誤つて深みに入り溺死した、郡下で今月に入つての水魔の犧牲者はこれで六人目の多きに上つて居り子供持つ親御さんはお互御用心の事

永松營林局長來平

松永東京營林局長は十八日午後丹羽植田營林署長の案內で平署を訪れ五千圓小切手拔取事件犯人檢擧に關する謝意を述べた

磐窯劍道大會

四倉町磐城セメント工場內磐窯體育會では此程劍道場が竣功したので來る二十九日午前九時からこれが披露を兼ねた劍道大會を催す

。。。。。現役兵に暑中見舞 平町役場では今二十日內地並滿洲、朝鮮の現役陸海軍兵七十一名に對し暑中見舞を出した

謎の死亡坑夫

磐城炭礦運搬夫自稱東京市板橋區下板橋一、〇一四勉四男鈴木政吉(三六)は昨年十一月二十七日作業中炭車の下敷きになつて死亡した、處が本籍地に照會しても該當者が不明なので二十日平署に調査方依賴した

。。。。。手長トロ押し公判 小名濱町跡場生當時錦村昭和人絹工場トロ押前科二犯崎村正太郎(三五)が去月出所したばかりで去る五日勝手知つた勿來町酒井字出藏の合宿所に忍び入り石井秋之助その他の衣類(約二十圓)を竊取した事件は明二十一日平區で野木判事淸田檢事係り公判開廷される

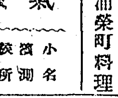
剃刀で女を脅迫し轉々賣り飛ばす

誘拐魔千葉の餘罪

さきに土浦署に檢擧された婦女誘拐魔小名濱町生れ當時住所不定モグリ周旋業千葉春喜(三五)についてはまたしても餘罪が判明した 即ちさる四月十二日群馬縣群馬郡桃井村生れ武內はつ江(一八)をカミソリで脅迫誘拐、土浦榮町料理店渡邊きく(三九)と共謀二十二歲と戶籍謄本を僞造し前借二百圓で東京龜戶町の料理店に賣り飛ばし更に同女を連れ出し小名濱町料理店小幡屋へ二百八十圓で住込ませ四十圓づゝを山分け二、三日で小幡屋を逃走させ前記渡邊きく方で酌婦として働かせてゐた

手長小僧

小名濱町古港生れ伊東吉次郎(二九)假名―は十八日夜十時頃相馬郡中村町川原元小學教員草野佳平氏方へ忍び込み金側腕時計(價格八十餘圓)外數點を竊取逃走したので其筋で搜査中



天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩も明日も南の風晴夕立模樣あり

。。。。。橫領洋裁に八ヶ月 修繕依賴の洋服を入質費消した平町南町洋服裁縫業渡邊滿二(二九)は今二十日平區野木判事、氏家檢事係りの公判で求刑通り懲役八月を言渡された

植田支局通信

。。。。。理髮試驗合格者 去る十七日執行の理髮試驗合格中植田町の分左の通りである 小田圓爲次郎 船生コウ 松本信夫 鈴木キヨノ

。。。。。海軍簡閱點呼 來月十七日植田小學校に於て菊田方部の各町村全部の海軍簡閱點呼を執行する

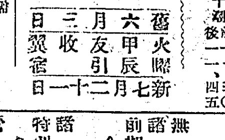
。。。。。共同出荷分配 菊多出荷組合では植田町役場斡旋の下に去月中より各地方へ出荷しつゝあつたが豌豆及青梅の一段落を見たので十七日植田役場に於て賣上計算の結果金一千圓也を植田、錦、山田、川部、上遠野、入遠野の各町村へそれぞれ分配した

。。。。。永松局長來郡 東京營林局長永松陽一氏は一昨十八日午後三時三十分植田驛下車小切手拔取事件の解決に關し警察署、役場その他を訪問した

。。。。。隔離 平町十五丁目三〇鎌田善六娘トク子(三)ちやんは猩紅熱と判明隔離

挨の巻

夏の夜のナンセンス。毎夜十一時頃ともなれば人絹工場附近一帶に洗濯物はずし級の鼠賊が橫行するので最近錦駐在所川島巡査が密行中その刻限に工場附屬病院附近の三軒長屋を片つ端しから覗き廻る怪漢あるのでこれなるかなと有無を云はさず最寄りの門衞控所へ連行嚴重追究した所その男顏をまつ赤にしての自白に曰く『最近些か變態性になりまして毎夜一度は兩性の睦言を聞かなくては眠れないのです、昨夜もこの附近で女の啜り泣きがするので覗いて見ると丁度眞つ最中だつたので遂い今夜も我慢出來ずに――エヘッ』と來たので流石の係官もダア―



舊六月 甲辰 友引 三收 日翼宿 火曜 新七月二十一日

二十一日(小名濱測候所發表)
日出 四、三六 月出前 七、〇三
日沒 六、五〇 月沒後 八、〇八
滿潮 前四、三五 後六、〇五
干潮 前一一、三〇 後一一、四五

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 どうげなしを持込まるゝも應ずれば損失あり▲二黑 草木根を張りて益々し葉の繁もするが如し▲三碧 諸事急功を欲して短慮となり失敗を招く日▲四綠 共れから共れと氣移りして一事も成らざる日▲五黃 身心を安定して妄りに動かざれば過なき日▲六白 破竹の勢を以て萬事を達成し得べき盛運日▲七赤 一家の喜びに滿足すべき日但し多辯を戒しむ▲八白 兩雄並び立たず餘りに權威を振はざるが吉▲九紫 一事に熱中し他事を打捨て欠陷を生ずべし

廣告

第參拾期決算報告書

貸借對照表

(借方)

資產	
現金並ニ預金勘定	一〇〇、三四四・七三
有價證券	三、三九四・九〇
貸付金勘定	八六、九九六・九〇
未收無盡掛金	二二、二〇四・六四
假拂金	五八二・七〇
營業用土地建物什器	三、五八五・三六
不動產	四、一一八・一四
合計	四二六、二二七・二六

(貸方)

負債	
未拂無盡給付金	一四、八〇〇・〇〇
未拂入札差金	九、三四四・六九
未拂解約返戾金	一六、七六一・六九
無盡給付資金	二二五、七五〇・五〇
期限未經過掛金	一八、一五八・一六
集金員勘定	三、七四〇・〇四
假受金	三二、二八七・四〇
日掛假受金	三、六〇八・一六
加入證據金	一二三・九〇
資本金	一〇、〇〇〇・〇〇
法定準備金	一一、六〇〇・〇〇
社員退職給與基金	二、八〇八・九一
社員保證積立金	三、六一八・〇九
當期利益金	六、六〇五・七三
合計	四二六、二二七・二六

損益計算書

利益	
無盡利益	一三、三一八・〇四
諸利益金	一七、八六七・八四
前期繰越金	三一六・八二
合計	一三〇、五〇二・七〇

損失	
諸經費	一六、四〇五・六四
營業費(タル金高)	一、六六八・五五
特別配當金(加入者ニ支拂)	四五、六六八・六二
諸償却	一一六、四二六・七二
當期利益金	六、六〇五・七三
合計	一三〇、五〇二・七〇

右之通リニ候也

昭和拾壹年六月參拾日

現在無盡給付金契約高 四、七五二、五〇〇・〇〇

磐城無盡 商會長 小宅嘉久治

產科 婦人科 花柳病科 午前宅診 午後往診 入院應需

井坂醫院 平町田町(元合津醫院跡) 電話五五九番

藥品 百貨 福島縣平町二丁目 西村屋藥舖 藥劑士 鈴木堅助 電話 三番 振替 東京六・二二九 仙臺一・二〇一九